

## 「個別事業のフルコスト情報の開示」について

### 農林水産省

- ・輸出入植物検疫業務
- ・輸出入動畜産物検疫業務
- ・水産資源調査・評価に係る業務
- ・獣医師国家試験業務
- ・戦略的輸出拡大サポート事業  
(商談会及び見本市への出展等サポート)
- ・農業共済事業事務費負担金事業
- ・強い農業づくり交付金事業

# 【農林水産省】輸出入植物検疫業務

## 事業の概要

輸出入植物検疫業務は、植物防疫法に基づき、全国の海港や空港（輸出においては集荷地も含む。）において、我が国に輸入又は我が国から輸出される植物について、検査を行うものです。検査対象の植物は、船舶や航空機による大量の穀物や野菜の貨物はもとより、旅行者が携行する果物や切り花、鉢植えに至るまで、多岐にわたっています。

### フルコスト 102.1億円

(内訳)

人にかかるコスト	66.4億円
物にかかるコスト	24.7億円
庁舎等(減価償却費)	0.4億円
事業コスト	10.4億円

(参考)自己収入 一億円

### 単位当たりコスト

検疫1件当たりコスト:8,311円

(参考)単位:輸出入植物検疫件数  
1,229,355件

国民1人当たりコスト: 80円

(参考)単位:総人口 126,443,180人



## 輸出入植物検疫業務の流れ

### フルコスト

#### 植物防疫所における輸出入植物検疫

輸入検疫

植物の病害虫が海外から輸入される植物に付着して日本に侵入することを防ぐため、輸入検疫を実施。  
量や商用・個人用を問わず、貨物、携帯品、郵便物で輸入されるすべての植物が対象。

輸出検疫

日本から輸出される植物に輸出相手国が指定する病害虫の付着がないか、相手国の要求に即した消毒が実施されているかについて検査。

検査に合格

植物の輸出入可能

検査に不合格

植物の輸出入不可能

# 【農林水産省】輸出入動畜産物検疫業務

## 業務の概要

輸出入動畜産物検疫業務は、動物・畜産物を介して、家畜の伝染性疾病が、我が国へ侵入することを防止するほか、外国に拡散することを防止するため、家畜伝染病予防法、狂犬病予防法等に基づき、我が国の各港、空港等において実施しています。

なお、動物検疫は、日本のみではなく、世界各国が、それぞれ、動物の伝染性疾病の侵入を防止するため行っている検疫制度です。

## フルコスト 36.8億円

(内訳)

人にかかるコスト	22.4億円
物にかかるコスト	8.3億円
庁舎等(減価償却費)	0.1億円
事業コスト	5.8億円

(参考)自己収入 一億円

## 単位当たりコスト

検査1件当たりコスト: 5,907円

(参考)単位: 動畜産物輸出入検査件数  
623,304件

国民1人当たりコスト: 29円

(参考)単位: 総人口 126,443,180人



【動物(馬)の検査】

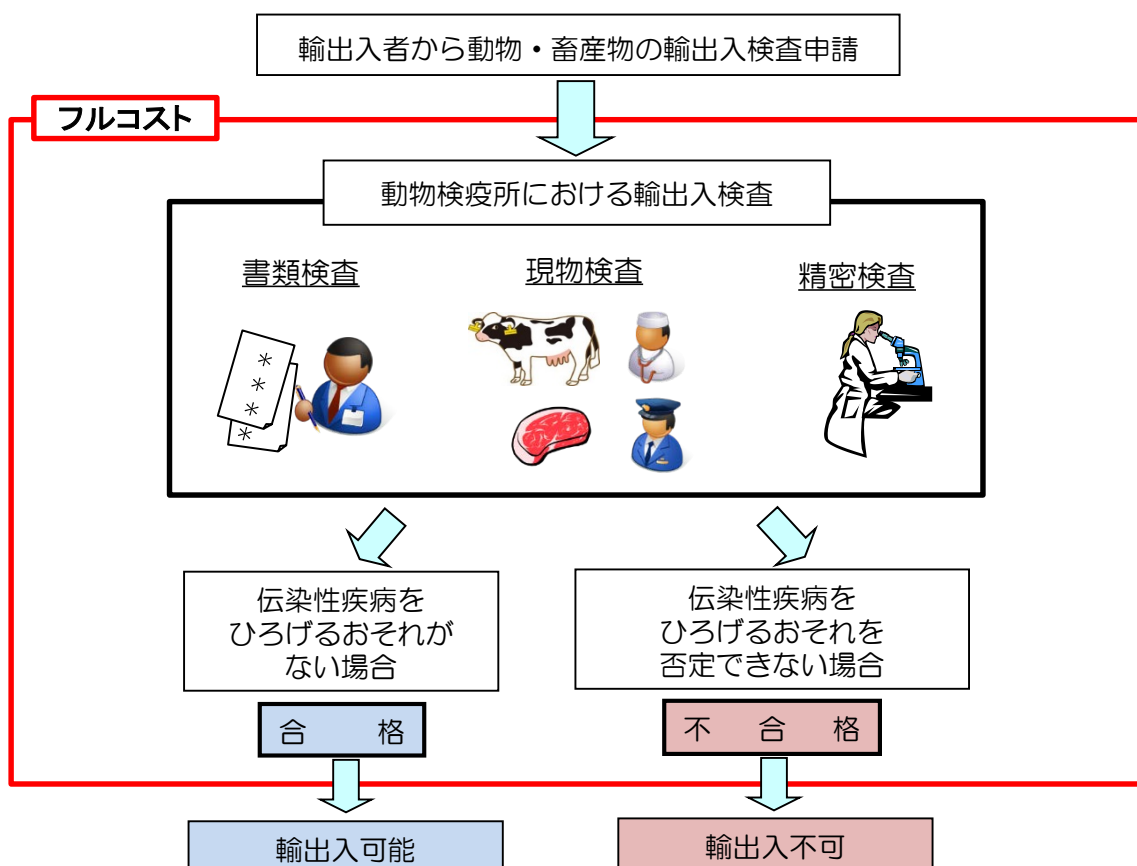


【動物(犬)の検査】



【畜産物(生鮮肉)の検査】

## 動物・畜産物の輸出入検査の流れ(概要)



# 【農林水産省】水産資源調査・評価に係る業務

本事業に関連する平成30年度の行政  
事業レビューシートの事業番号(0259)

## 業務の概要

水産資源調査・評価に係る業務は、我が国周辺水域の主要魚種(マイワシ、マサバ等)及び公海等で漁獲される国際漁業資源(サケ、カツオ・マグロ等)について、調査・解析等を実施し、適切な資源管理に必要な科学的知見を提供することにより、水産物の安定供給を図るための業務です。

### フルコスト 33.3億円

(内訳)

人にかかるコスト	0.2億円
物にかかるコスト	0.0億円
庁舎等(減価償却費)	0.0億円
事業コスト	33.0億円

(参考)自己収入 -億円

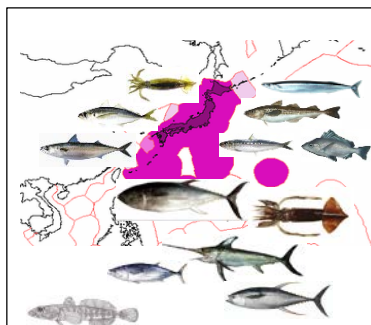
### 単位当たりコスト

資源評価対象魚種当たりコスト  
:0.3億円

(参考)単位:魚種数 104魚種

国民1人当たりコスト: 26円

(参考)単位:総人口 126,443,180人



#### 【我が国周辺資源】

我が国の沿岸性・沖合性魚類(マイワシ、マアジ、マサバ、スケトウダラ、ズワイガニ、スルメイカ等)

#### 【国際資源】

高度回遊性魚類(かつお・まぐろ類、サンマ等)、遡河性魚類(さけ・ます類)、公海の外洋底魚類・いか類等

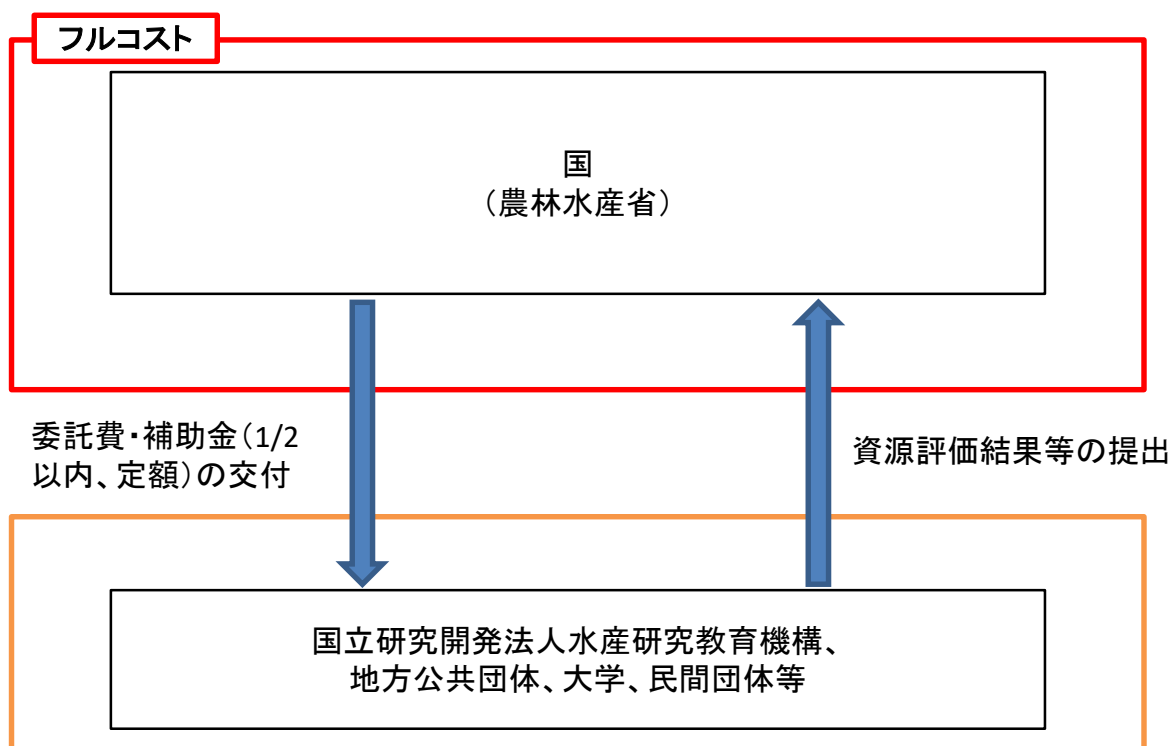
#### 【資源調査】

- 漁獲・水揚情報の収集
- 調査船による調査
- 採集した資料・標本の分析

#### 【資源評価】

- 収集した情報に基づき資源量、親魚量と加入量の関係(再生産関係)や漁獲の強さを推定。
- 資源の状況を把握し、資源管理の選択肢を提言。

## 水産資源調査・評価に係る業務の流れ



# 【農林水産省】獣医師国家試験業務

## 業務の概要

獣医師国家試験は、獣医師免許を取得しようとする者について、獣医師として必要となる知識等を有する者であるかの確認を行うものである。試験は獣医事審議会が実施することとされており、その下部組織である獣医事審議会試験部会において、試験問題の作成、受験者の合否判定が行われているが、本業務では、試験部会の運営や受験願書の受付等、試験実施に係る運用全般を実施している。

## フルコスト 3,191万円

(内訳)

人にかかるコスト	711万円
物にかかるコスト	2,477万円
庁舎等(減価償却費)	2万円
事業コスト	一万円

(参考)自己収入 1,626万円

## 単位当たりコスト

申込者数当たりコスト: 27,277円

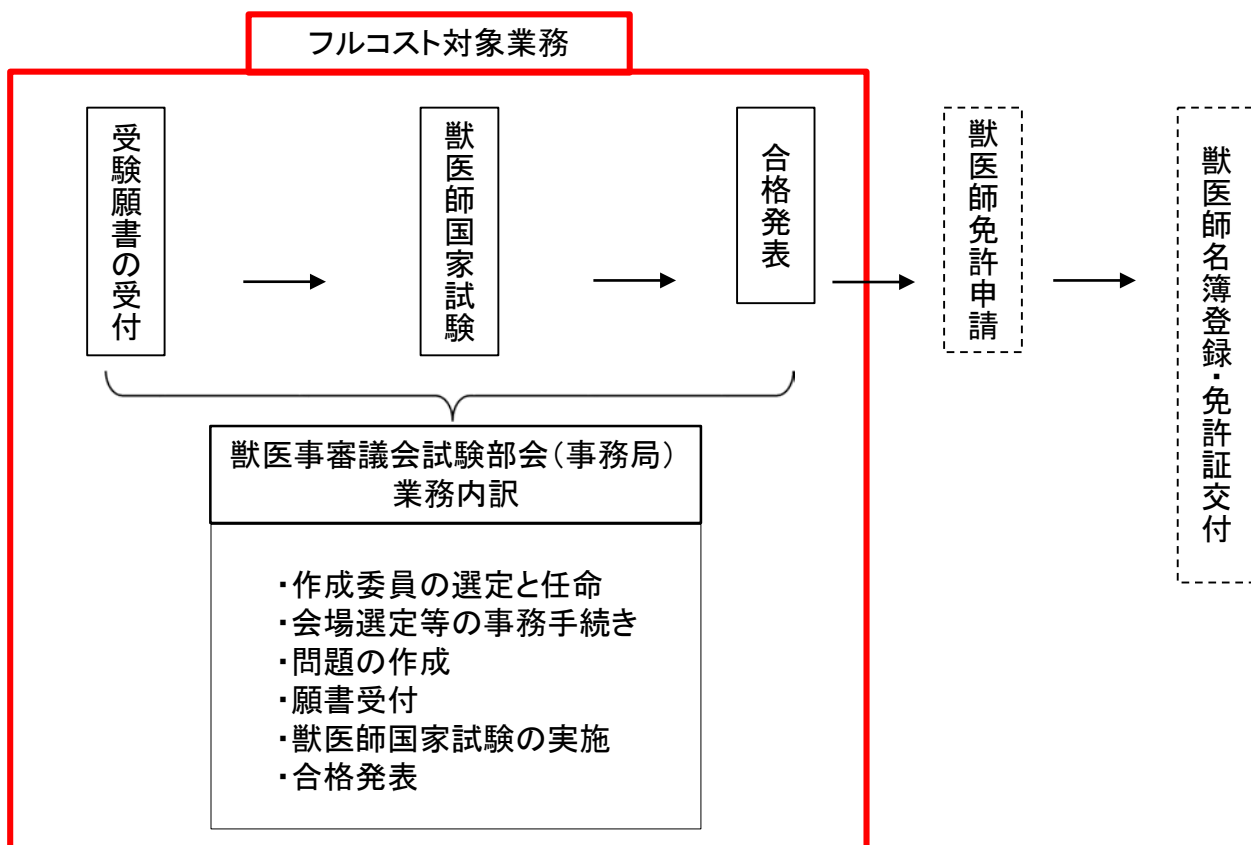
(参考)単位: 申込者数 1,170人

国民1人当たりコスト: 0.2円

(参考)単位: 総人口 126,443,180人



## 獣医師国家試験業務の流れ



# 【農林水産省】戦略的輸出拡大サポート事業 (商談会及び見本市への出展等サポート)

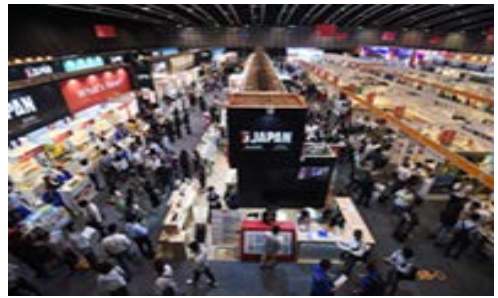
本事業に関連する平成30年度の行政  
事業レビューシートの事業番号(0022)

## 事業の概要

戦略的輸出拡大サポート事業は、独立行政法人日本貿易振興機構への補助を通じて、海外における日本産農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者を支援しています。その支援の一つとして、海外見本市への出展支援及び国内外での商談会の開催により、海外市場へ商流構築を目指す事業者に商談機会を提供しています。

## フルコスト 12.5億円

うち国におけるフルコスト (内訳)	0.1億円	うち(独)日本貿易振興機構 におけるフルコスト (内訳)	12.4億円
人にかかるコスト	0.0億円	業務費用(人件費)	3.3億円
物にかかるコスト	0.0億円	引当外賞与見積額	0.0億円
庁舎等(減価償却費)	0.0億円	業務費用(人件費以外)	9.0億円
事業コスト	一億円	損益外減価償却相当額	0.0億円
		損益外減損損失相当額	0.0億円
(参考)自己収入	一億円	(参考)自己収入	1.9億円



海外見本市でのジャパンパビリオンの設置



海外バイヤーとの商談会の開催

## 単位当たりコスト

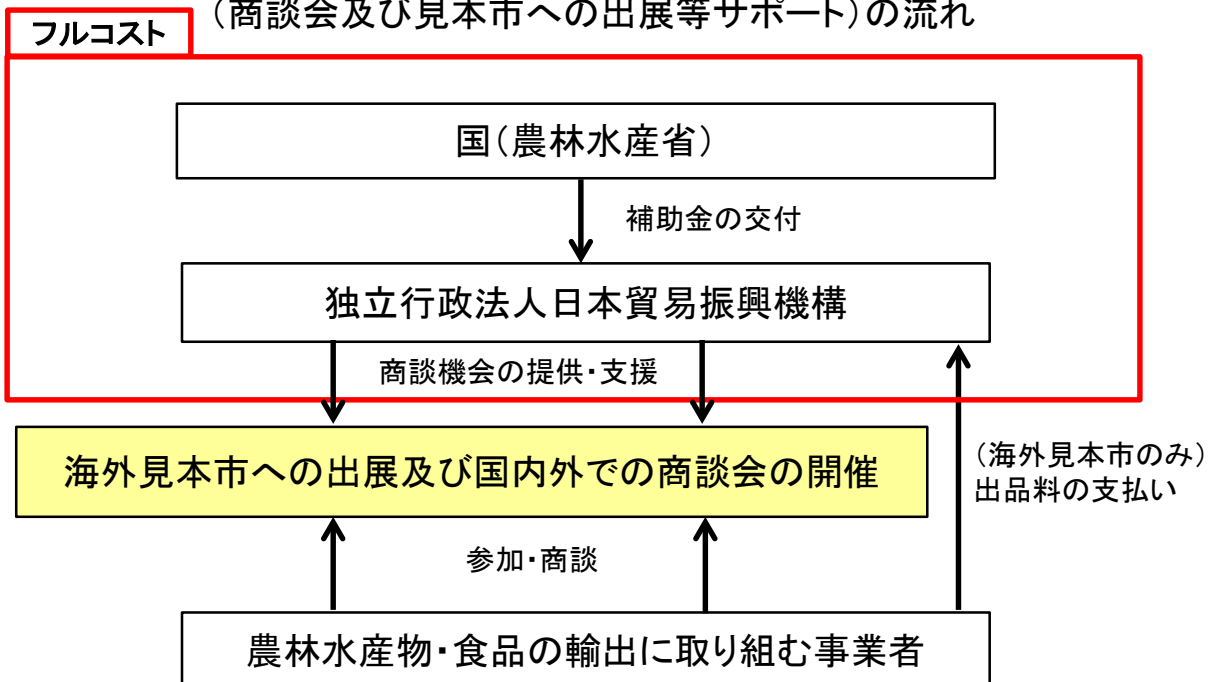
商談1件当たりコスト: 29,550円

(参考)単位: 商談件数42,385件

国民1人当たりコスト: 9円

(参考)単位: 総人口 126,443,180人

## 戦略的輸出拡大サポート事業 (商談会及び見本市への出展等サポート)の流れ



# 【農林水産省】農業共済事業事務費負担金事業

本事業に関連する平成30年度の行政  
事業レビューシートの事業番号(0072)

## 事業の概要

農業共済事業事務費負担金事業は、国の災害対策の基幹である農業共済制度の迅速、適正かつ円滑な実施を確保するため、その実務を行っている農業共済団体(農業共済組合、農業共済組合連合会)に対し、事業運営に係る基幹的経費(人件費、旅費、庁費、委員手当等)を国から直接交付(定額)する事業です。

## フルコスト 631.8億円

うち国におけるフルコスト (内訳)	5.1億円	うち農業共済団体 におけるフルコスト (内訳)	626.7億円
人にかかるコスト	4.4億円	業務費用(人件費)	415.0億円
物にかかるコスト	0.7億円	業務費用(人件費以外)	211.6億円
庁舎等(減価償却費)	0.0億円		
事業コスト	一億円		
(参考)自己収入	一億円	(参考)自己収入	259.5億円

## 単位当たりコスト

**引受1件当たりコスト: 38,529円**

(参考)単位: 引受件数 1,640,000件

**国民1人当たりコスト: 499円**

(参考)単位: 総人口 126,443,180人

### 加入申込書入力作業

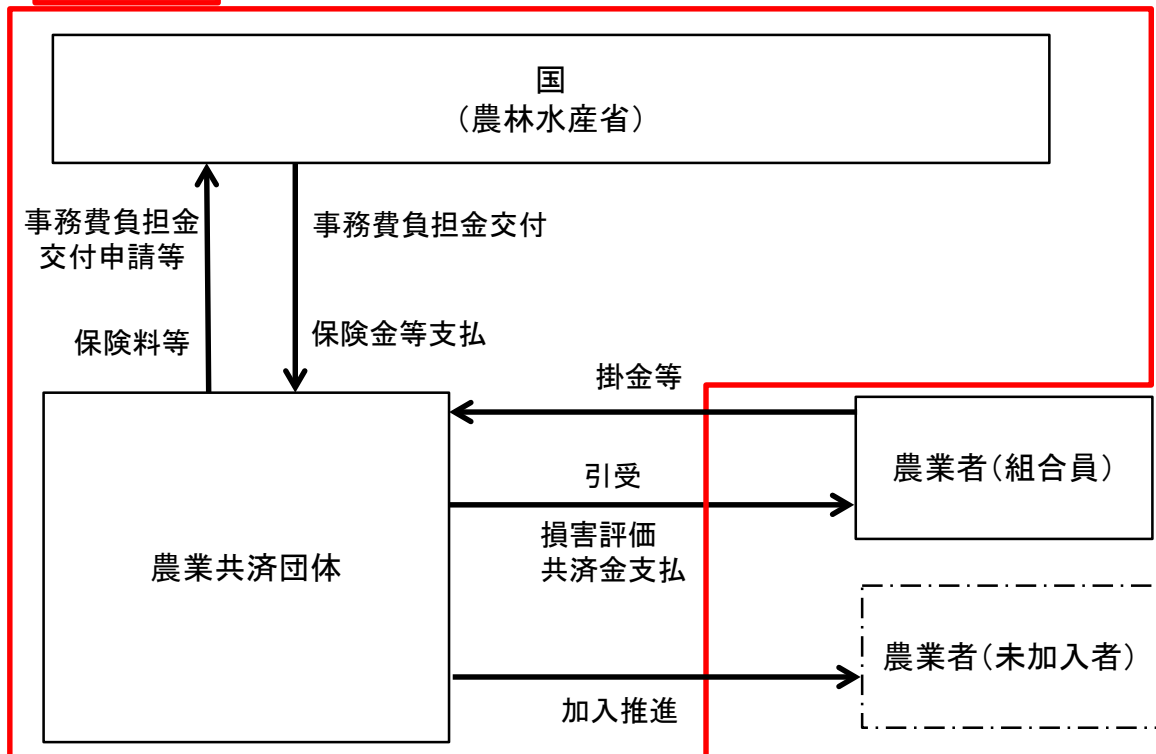


### 損害評価(現地確認)



## フルコスト

## 農業共済事業事務費負担金事業の流れ



※農業共済団体が行う任意共済事業及び収入保険に係る経費はフルコストの算定から除く

# 【農林水産省】強い農業づくり交付金事業

本事業に関連する平成30年度の行政  
事業レビューシートの事業番号(0137)

## 事業の概要

強い農業づくり交付金事業は、国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な産地基幹施設の整備等を支援する事業です。

### フルコスト 1.4億円

(内訳)

人にかかるコスト	1.1億円
物にかかるコスト	0.3億円
庁舎等(減価償却費)	0.0億円
事業コスト	一億円

(参考)自己収入 一億円



乾燥調製貯蔵施設



集出荷貯蔵施設



農産物処理加工施設

### 単位当たりコスト

交付件数1件当たりコスト:178.1万円

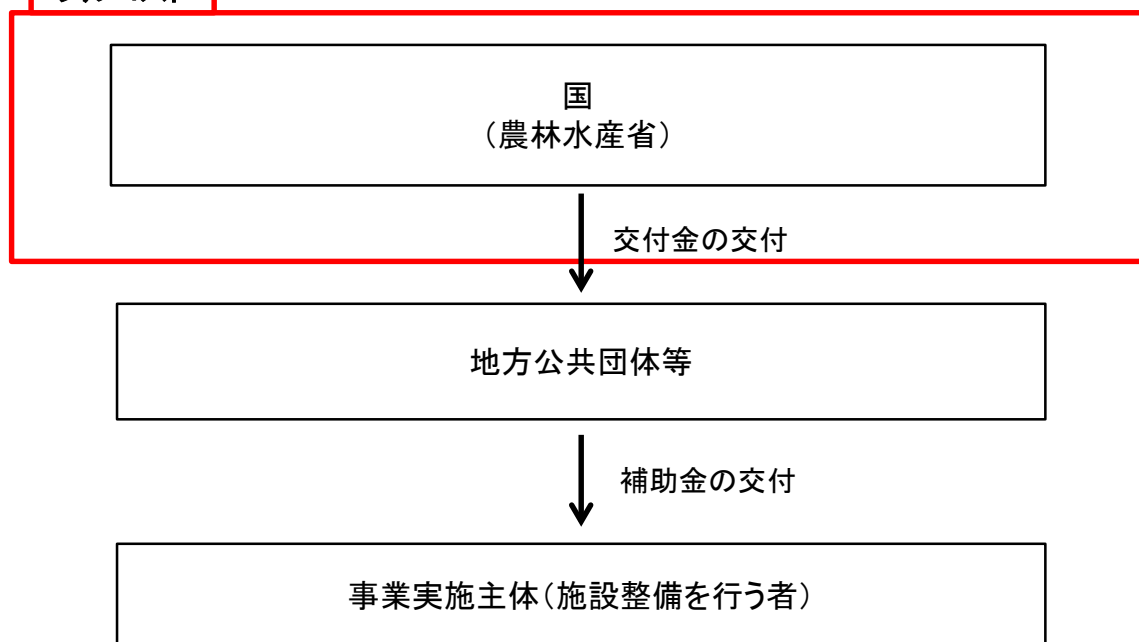
(参考)単位:交付件数 83件

国民1人当たりコスト: 1円

(参考)単位:総人口 126,443,180人

## 強い農業づくり交付金事業の流れ

### フルコスト





## 【参考】フルコストの算定方法について

フルコストの算定にあたっては、国家公務員給与等実態調査（人事院）等及び政策別コスト情報を活用して算定しております。

### 1. 人にかかるコスト

国家公務員給与等実態調査より算定した平均給与額等に、事業・業務に従事する各職員の概ねの業務量の割合を合計して算出した人員数を乗じて、当該事業・業務に係る「人にかかるコスト」を算出しております。

### 2. 物にかかるコスト

事業・業務が属する政策区分全体の「物にかかるコスト」の金額を事業・業務に配賦するにあたっては、事業・業務を所掌する部局等の各職員が携わる各事業・業務について概ねの業務量の割合を算出し、各職員の業務の割合を合計して「按分率」を算出し、当該按分率を「物にかかるコスト」の政策区分全体の総額に乗じて、当該事業・業務に係る「物にかかるコスト」を算出する方法によって配賦しております。

### 3. 庁舎等（減価償却費）

事業・業務が属する政策区分全体の「庁舎等（減価償却費）」の金額を事業・業務に配賦するにあたっては、事業・業務を所掌する部局等の各職員が携わる各事業について概ねの業務量の割合を算出し、各職員の業務の割合を合計して「按分率」を算出し、当該按分率を「庁舎等（減価償却費）」の政策区分全体の総額に乗じて、当該事業・業務に係る「庁舎等（減価償却費）」を算出する方法によって配賦しております。

### 4. 事業コスト

事業・業務に係る事業コストとして認識しているコストを計上しております。

### 5. 自己収入

事業・業務の実施に伴って発生するコストの財源として、税以外で直接受け入れた収入を計上しております。

### 6. 現金の給付額（発生主義ベース）【「中間コスト（間接経費）」のみ】

国から交付された資金が最終的に国民等へ行き渡った金額を「発生主義ベース」で計上しております。

### 7. 【戦略的輸出拡大サポート事業】独立行政法人日本貿易振興機構におけるフルコストの算定方法

この事業は、独立行政法人日本貿易振興機構を通じて行政サービスを実施していることから、同法人において事業・業務を実施するにあたって発生したコストについて計上しております。発生したコストについては、同法人における「行政サービス実施コスト計算書」を活用して算定を行っております。

8. 【農業共済事業事務費負担金事業】 農業共済団体におけるフルコストの算定方法

この事業は、農業共済団体を通じて行政サービスを実施していることから、農業共済団体において事業・業務を実施するにあたって発生したコストについて計上しております。発生したコストについては、農業共済団体の業務運営に関する実態調査結果を活用して算定を行っております。

各事業・業務についての問い合わせ先

農林水産省大臣官房予算課 電話番号 03-3502-8111 (内線 : 3167)